

グローバル競争で求められる品質の透明性

イノアックグループでは、お客様に安心・安全にご使用いただける製品の品質を保証し、ご満足いただける商品やサービスを提供する為に、ISO9001を基本とした総合的なマネジメントシステムを導入し、お客様と連携して品質改善に取り組んでいます。近年では、品質不正問題が大きな社会問題となり、日本のものづくりに対する信頼が揺らぐ中、世界的な流れとして製品開発・製造過程の透明性と責任を明確化する動きが強まっています。

基本方針

すべてのお客様を満足させる品質

- 重要品質不具合0件
- 品質の透明性の確保

取組事例

1、重大不具合の未然防止活動

①重要品質部品監査

社会的信用の失墜による会社の存続が危ぶまれるような、重大品質不具合を未然に防ぐことを目的として国内外の生産拠点に対して監査指導を実施して品質力の向上に努めています。

②新製品品質審査

新技術・新材料・新プロセス・新用途のいずれかに該当する製品に対する審査を実施して重大品質不具合の未然防止に努めています。

審査メンバー

社長、グローバル技術開発本部、グローバル生産管理本部、法務部、知財、グローバル品質保証本部、担当事業部責任者
製品の技術責任者、品証担当、営業担当

審査内容

材質・製品特性・製品性能・構造・外観・類似品比較
製品安全性・製造の安全性・品質リスク

2、自動化・IoT化の推進

製品評価・検査のIoT化・自動化を推進して、評価・検査の信頼をアップさせ、視覚化することで品質の透明性確保と工程で発生している問題を迅速に把握し、対応できる体制づくりを進めています。また得られたデータを活用して不具合の未然防止につなげています。ここでは、製造現場での測定と検査の自動化・IoT化の事例を紹介します。

①製造工程(測定・検査)自動化・IoT化による品質の透明性向上

製造工程で自動測定器にて計測された生産条件と寸法データを自動的に合否判定し、現場や事務所のモニターにリアルタイムで分かりやすく表示され、透明性の高い製品品質の監視ができる。自動測定されたデータは秒単位でハードウェアに保存されて、バーコードで紐づくことできめ細かいトレーサビリティが可能となります。蓄積されたデータを活用した、生産条件の管理を行うことで、品質の向上と安定化を図っています。



パイプの自動測定機
インラインで外径、肉厚、外観検査を自動測定器で実施し、異常を見逃さない

②試験管理のIT化による品質透明性の向上

品質の透明性とお客様の信頼性向上を目的とし、試験管理のIT化を進めています。在庫・出荷システムと連携させて、一元管理のシステムを構築することで試験評価が完了していないもの、評価結果が不合格なものは出荷できないシステムとなっています。製品毎の試験項目、評価結果、出荷可否、進捗状況等の情報を多部署で共有し、未評価品・不良品の流出防止を図り、お客様の信頼性を向上させます。また、試験評価結果が自動的にPC取り込むことで、転記ミスなどの人為ミス等を防ぐことが可能になり、データの信頼性と作業効率が向上されました。

